



2026
7・24
No.65

特集 令和8年度通常総代会

令和8年度通常総代会開催にあたり、三ご挨拶を申し上げます。
総代の皆様方におかれましては、お忙しい中出席を頂き有り難うございます。合わせて書面議決を頂いた皆様方にも御礼を申し上げます。
本日はご来賓として、福岡市農林水産局農林部より岩倉政策企画課長、福岡県農業協同組合中央会より保坂総務部長、福岡花商協同組合より飛松理事長、北九州生花商協同組合より山村理事長、福岡寿税理士法人渡辺会計事務所より渡辺代表におかれましては、ご多用の中ご臨席を賜り有り難うございます。
また、平素より花卉農協に対しましてご支援ご協力を頂いております事に、この場をお借り致しまして御礼を申し上げます。
さて今回の総代会も予定通り開



組合長挨拶

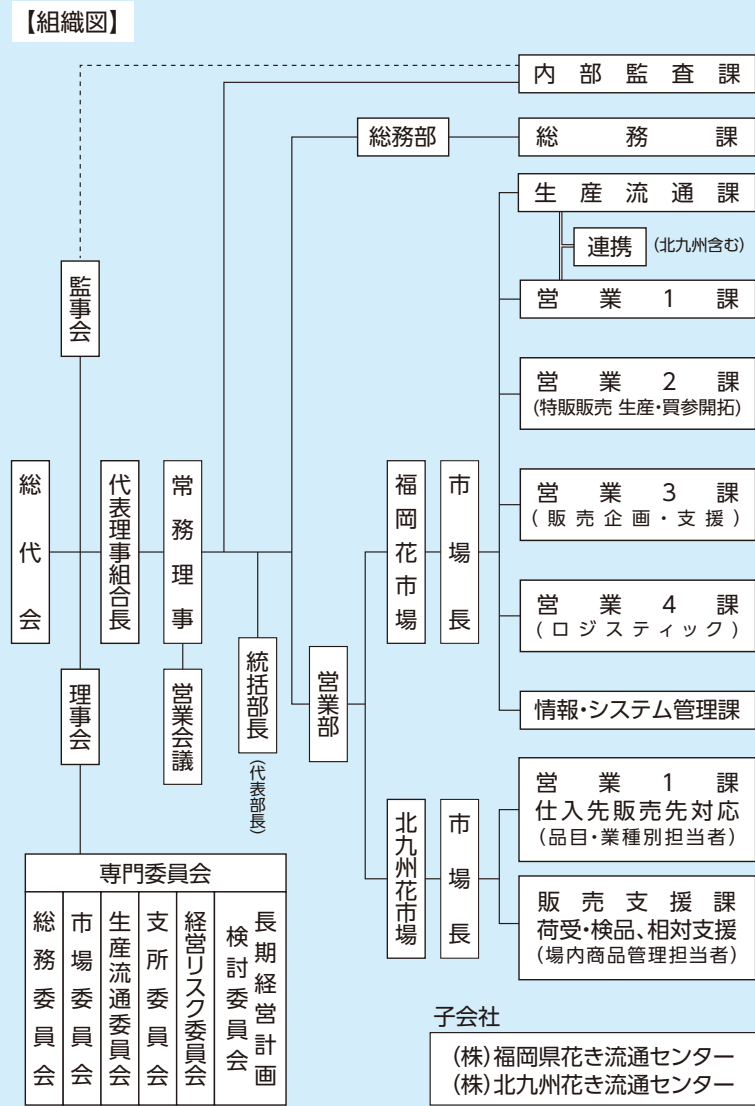
催する事が出来ました。
合わせて地区別座談会も計画通り県内3地区にて開催を致しました。後ほど常務より座談会報告は行いますが、理事会においては詳細に報告検討を行いました。改めて返答する事案は無く、全て座談会にて対応を致しております。
座談会での印象としましては、生産現場が厳しい現況の中で価格転嫁も出来無い状況から買参人・花商の皆さんに生産者の状況をもっと知らせて欲しい等の要望や、販売システム更新に伴う2月15日からの夜セリにおけるメリットやデメリット、花商側の動向などの質問が印象に残っております。
昨年の総代会にてご承認を頂いた「中期経営計画」に沿い業務を進めてまいりましたが、特に「九州・山口の拠点市場」としての役割発揮と強化は最重要事項で、夜セリもその環として取り組んできた所です。
花き情勢及び事業実績等については後ほど詳しく報告を致しますので割愛させて頂きますが、非常に厳しい令和7年度でありました。
生産面では資材・肥料諸々更なる価格上昇に異常気象続きで計画生産に繋がらない、種苗球根も満足に揃わない、燃油の高騰で冬場の生産は作っても赤字である等、今後の生産減少が懸念される状況です。
消費面では昨年春より特に話題の令和の米騒動から円安や世界情勢の不安定化による物価高騰、特に生鮮食料品の値上がりは花の消費

にも大きく影響が出ている状況です。
この様な状況から消費宣伝を含めた消費喚起は引き続き重要であると再認識しております。
明るい話題は多くありませんが、二つ申し上げるとすれば来年3月19日より9月26日までいよいよ横浜における国際園芸博覧会・GREEN X EXPO2027が開催となります。西大阪万博が大盛況であった事から関係大臣を含め高市総理自身からも多大な応援を頂いております。
只、早くから万博の公開はなされているものの、九州含めて地方ではまだまだ認識や関心が薄い状況にて農水省や万博担当者には苦言を伝えたい所ではありますが、今年の3月19日からは前売り券も発売になり、今後はメディアを含め広報の場も多くなり、機運醸成も図られる方向です。
花と緑への関心と新たな需用開拓にも繋がると大いに期待出来ると思われ、生産消費共に厳しい状況ですが希望をもってそれぞれの立場で邁進頂ければ幸いです。
長くなりましたが結びと致しまして、本日は第1号議案から第5号議案まで上程致しておりますので慎重審議をお願い致しまして開会の挨拶と致します。

令和8年6月20日(土)

令和8年4月1日付けで、組織改編を行いました。福岡花市場の市场部と生産流通部を統合し、営業部として事業を展開していきます。販売担当職員ならびに購買担当職員双方の知識向上に取り組み、組合員の皆様の必要とするサポートの変化に対応できるよう努めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

組織改編を行いました



令和8年4月1日(水)に、福岡県花卉農業協同組合の入組式を行いました。
今年度の新卒採用は3名で、全員福岡花市場に配属されました。また4月1日付で嘱託職員1名を正社員として登用し、さらに5月と7月に正職員を1名ずつ、計2名を中途採用して北九州花市場に配属しています。



入組式にて

入組式を行いました

SNSで情報発信を行っています
県花卉農協では、本年2月に販売体制を変更し在宅セリに移行したことにより、従来行っていた生産者や花商等のセリ前PRが難しくなった状況を踏まえ、SNSを活用した情報発信を強化しています。
ホームページ・YouTube・Instagram・Facebookを通して産地や品目の紹介、イベントのご案内等を行い、生産者・市場・花商を繋ぐ情報発信に努めてまいります。ぜひご覧ください。



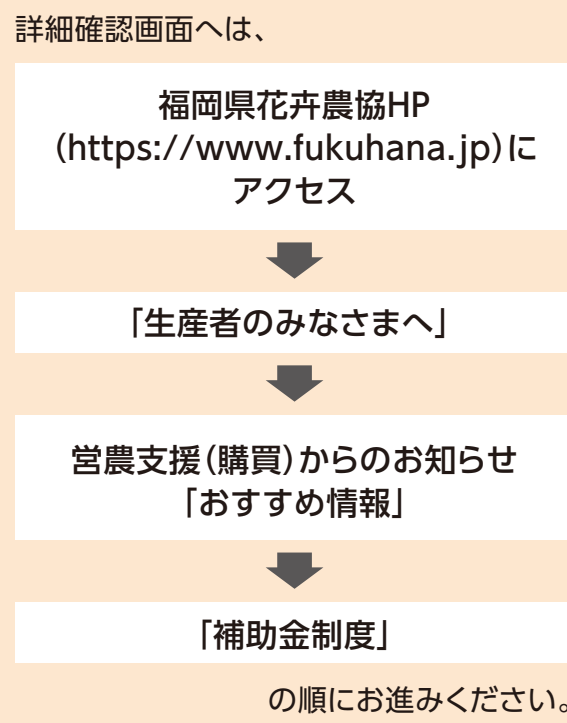
こちらからでもご確認いただけます



商品開発事業 品目作付補助金制度についてのご案内

福岡県花卉農協では商品開発事業として、組合員の皆様を対象とした品目作付補助金制度を行っています。

県花卉農協が指定する品目の作付けに挑戦したい、携わりたいという組合員の方は、県花卉農協HPで指定品目や補助条件、申込方法などの詳細を確認いただき、事務局までお申し込みください。



こちらからでもご確認いただけます



福岡県花卉農協組合
営農部営業3課(担当 原田)
電話 092-621-6767
FAX 092-611-0139

組合員のみなさまの住所氏名に変更または組合員資格に変更があった場合は異動手続きが必要となりますので、福岡県本所福岡花市場または北九州支所北九州花市場にご相談の上、手続きをお願いいたします。
なお、お手続きの際には、本人が確認できる公的書類(運転免許証やマイナンバーカードなど)と印鑑をご持参ください。

正組合員資格(要項)
10アール(1反)以上の土地または1アール以上の温室に花卉を生産していること。または1年の内90日以上農業に従事していること。

准組合員資格(要項)
福岡県内に住所を有する個人であり、当農協の事業を利用する事ができること。または福岡県内に勤務し、当農協の事業を1年以上継続利用していること。もしくは当農協の事業を1年以上継続利用している福岡県外に住所を有する方で、引き続き当農協の事業を利用することが適当であること。

【はなこ】7月号 2026年7月24日 発行
通巻 153号

●発行・編集
福岡県花卉農業協同組合
〒812-0064
福岡市東区松田1丁目3番20号
TEL: 092-621-6767
FAX: 092-611-0139
Email: info-fukuhana@ja.fukuhana.or.jp
https://www.fukuhana.jp

HANACO
はなこ

総代会報告

令和8年6月20日(土)午前9時より、福岡県花卉農業協同組合令和8年度通常総代会を開催いたしました。

総代会当日は、有効総代数175名のうち、本人出席48名、これに議決権行使書71通を合わせ、119名のご出席をいただき、無事に総代会が成立いたしました。

総代の皆様におかれましては、雨天でお足元の悪い中、福岡県内の各地区よりご参加いただき誠にありがとうございました。

本年の総代会議長は、糸島地区にお願いし選出していただきました。そして、執行部より提出しました第1号議



議長の吉村義隆氏



受付の様子

案から第5号議案までの議案を慎重に審議していただき、全ての議案を可決いただきました。

第5号議案では、理事の補欠選任が行われ、役員推薦会議より推薦いただいた中島清樹氏(八女・筑後地区)が選任されました。

今後も役職員一丸となり、組合員の皆様の生産支援に取り組みとともに、花き消費の拡大に向けて邁進してまいりますので、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

令和8年度 地区別座談会報告

総代会に向けて5月下旬より福岡・北九州・久留米の3会場にお集まりいただき、地区別座談会を開催いたしました。お忙しい時期ではありましたが延べ69名にご参加をいただき、総代会資料の説明をさせていただきました。

座談会の際には「花卉農協の運営や機構改革」、「花きの市場価格安定」、「消費宣伝活動」、「購買供給高目標や購買品の送料等の購買事業」、「生産者アンケート」などについて多くの意見やご要望をいただきました。

なかでも特に関心が高かったのは、本年2月15日付で実施した販売体制の変更についてでした。

福岡花市場および北九州花市場では2月15日より在宅セリへと移行し、夕刻からのセリ販売を実施しています。当初は調整が行き届かないところもありましたが、3月の需要期には安定した販売体制を整えることができました。生産者・買参人・運送会社など多くの皆様にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

今回の販売体制の変更によって、広域流通広域販売を相対取引からセリ販売まで日で完結し、安定した価格で販売ができるようになりました。販売品の配送もスムーズに行うことができるようになりました。

また、販売時間を集約することで、販売担当者が生産者や買参人へ営業に回る時間を多く取れる体制も整いつつあります。

一方で、在宅での仕入れとなったことで買参人

組合員表彰

福岡県花卉農業協同組合褒賞内規に従い、左記の方々を表彰させていただきました。(敬称略)

1 部会

きく部会	大原 忠
カーネーション部会	樋口 信弘
ばら部会	濱地 祐希
球根部会	石井 秀樹
一般草花部会	中島 隆二
花木部会	藤瀬 明広
鉢物部会	波左間 拓也
洋らん部会	波多江 吉徳
支所切花部会	新谷 義文

2 地区

福岡・北崎地区	宗 憲作
糟屋・宗像地区	柴田 文敏
糸島地区	吉村 明峰
八女・筑後地区	池田 哲也
筑紫・三井地区	秋山 洋三
久留米・三潞地区	大塚 実
甘木・朝倉地区	田中 大輔
うきは・田主丸地区	柳 壽幸
北九州・筑豊・京築地区	角崎 あけみ

3 生産者団体

J A にじバラ部会

4 買参人

福岡花市場
(有) グリーンハウスベル
北九州花市場
(有) あおい



地区の部 大塚実氏(久留米・三潞)

おめでとうございます

新役員のご紹介

理事会より役員推薦会議に候補者の選出をお願いし、選出された候補者を総代会にて選任していただきました。

理事 中島 清樹
(八女・筑後)



久留米地区にて

と顔を合わせる機会が減ってしまい、情報交換の中心が対面以外となっています。そこでこのデメリットを克服するため、市場での展示商談会ならびに交流会の開催を福岡・北九州花市場で計画しています。近々では7月15日に本年度1回目の交流会を福岡花市場で開催し、生産者・買参人・種苗メーカー・資材メーカーにご参加いただく予定です。以降は11月と2月に開催を予定しています。

また、販売体制変更の目的のひとつでもある「2課を中心とする計画的な買参人への訪問営業」を行い、情報の受発信に努め販売に繋がっていきます。

さらに情報の発信を強化する取り組みとして、SNSを活用した産地品目紹介やイベント紹介等、生産者から消費者まで幅広い情報の発信に努めて参ります。

今回の販売方法変更は、「買参人の利便性向上に努め、多様な取引に対応していくこと」を目的のひとつとしています。朝のセリが習慣であった買参人の方々も夕方の方のセリに変わったことで、最初は戸惑いもあったように伺えました。しかし現在では自分に合った仕入れ方法や引き取り時間などが選択できるようになったとの好評をいただいています。

また、福岡・北九州花市場の商品を双方の買参人が購入できるようにしたこと、買参人には品揃えがし易くなったとの評価をいただいています。

買参人の中にはセリ開始時間の変更を希望される方もおられますが、産地出荷から市場の着荷、分荷作業から各方面への配送ならび場内物流など全体的な一連の作業を考慮すると現状の販売時間のままが良いと考えています。また、買参人からは在宅セリ・ネット販売に重要な画像をもっと充実させてほしいとのご要望をい